



会員証の発行に関するお知らせ（重要）

平成13年度の会員証は3月10日までに会費入金の確認ができた会員に4月1日に届くように日臨技から郵送されてきます。これ以降に会費を入金されたことが確認された会員には会員証が4月に入ってから届かない可能性がありますのでご注意ください。

会員証が未着の会員が大臨技の行事に参加される場合は、会費を納入したと会員番号を受付時にお申し出ください。各行事の責任者は手動で会員の参加登録をしてください。

新しい会員証は会員個人宛に二枚貼りのハガキで送られてきます。ハガキを開くと中に新しい会員証が入っています。会員証は裏に接着剤が付いていますので、ゆっくりはがして裏面を合わせ、二つ折りにしてお使いください。受け取ったら必ずパスワードを変更してください。

次回北支部自由集会開催日の変更について

先月2月10日（土）に開催された北支部自由集会で、次年度行事として4月21日（土）の第9回大臨技北支部生涯教育自由集会の案内資料をお配りしましたが、4月21日（土）自由集会の開催は延期となりました。6月頃に変更予定ですので、改めて月例予定や大臨技ニュースでご確認の上、ご参加ください。

平成13年度 生涯教育推進講座のご案内

4月に開催されます生涯教育推進講座をお知らせします。

日 時	内 容 お よ び 講 師	会 場	担当部会
4月17日(火)18:30~20:00	腎の生理 講師 大阪厚生年金病院 藤井正満	和光純薬工業株式会社	一般検査
4月26日(木)18:30~20:00	見逃してはダメな心電図、見逃してもいい心電図 講師 大阪府済生会泉尾病院内科 松井由美恵	大阪市大 医学部 4階中講義室	生理検査

血清検査部会定期講習会のお知らせ

学術部 血清検査部会

次の通り定期講習会を開催しますので、万障お繰り合わせ上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。HIV検査において、再検査を必要とする〔判定保留〕はなるべく避けなければなりません。HIV感染を感染早期に発見することはHIVの広がりや抑制、あるいは効果的な治療に役立ちます。早期診断に威力を発揮する遺伝子検査（NAT検査）の現状について述べてもらう予定です。

- ・ HIV感染のひろがり
- ・ 血液センターや一部の保健所に導入され始めた遺伝子診断の有効性について
- ・ 通常のHIV検査の手順についての現状と問題点について
- ・ HIV感染者の治療と治療に関する検査方法について

記

日時：平成13年4月19日（木）18：30～20：00
場所：株式会社アズウェル 大阪本社本館8階大会議室
大阪市中央区石町2丁目2番9号
地下鉄谷町線天満橋駅、京阪電車天満橋駅下車、南西へ徒歩約5分
テーマ：基礎から最近のトピックスーHIV血清反応ー
広がり続けるエイズ感染症の早期発見は可能か？
講師：大阪府立公衆衛生研究所 大竹 徹
参加費：会員500円（大臨技、近臨技会員および賛助会員）。非会員3,000円
評価点：B－10点
連絡先：宮野 章
大阪府立母子保健総合医療センター検査科
Tel：0725－56－1220 内線2068
電子メール：miyano@mch.pref.osaka.jp

第8回中央支部生涯教育講演会のお知らせ

最近、インフォームドコンセントをはじめ情報公開が進む医療界において、患者さんを中心とした質の高い医療を行うためには、診療情報の共有化、医療情報の公開等が必要であり重要な課題となってきました。

そこで、今回は、病病、病診連携など地域医療に貢献されています、大阪府医師会理事 三上裕司先生に医療改革の方向と地域医療について講演をお願い致しました。つきましては、我々臨床検査技師も情報公開をどの様に捉えるかにより、今後の検査室の取り組みも大きく変わってまいります。病院自体の生き残り策の一つとしても今後進むであろう地域医療について勉強していきたいと考えておりますので多数ご参加下さい。

記

日時：平成13年4月27日（金）18：30～20：00
場所：株式会社アズウェル 大阪本社本館8階大会議室
大阪市中央区石町2丁目2番9号
地下鉄谷町線天満橋駅、京阪電車天満橋駅下車、南西へ徒歩約5分
テーマ：医療改革の方向と地域医療について
参加費：会員500円（大臨技、近臨技会員および賛助会員）。非会員3,000円
評価点：C－10点
連絡先：西 時男 市立枚方市民病院 TEL072－847－2821

施設連絡者会議を開催して

地区事業部

平成13年2月3日（土）に医療研修センター（阿倍野区）で、施設連絡者会議が開催された。第一部では森嶋副会長から日臨技、大臨技の近況報告、今後の医療情勢、そして、地区事業部活動等を通じての技師会員同志の結束力の必要性が述べられた。また、第二部では、各支部毎に分かれ、「ネットワークの第一歩」として討論が行われた。

施設連絡者会議の報告

—北 支 部—

副支部長 米田孝司

北支部施設連絡者の出席は18施設（欠席28施設）と少なかった。まず、施設連絡者の役割について討論した。続いて北支部でのネットワーク構築のための第一歩として、地区活動と技師会に関するアンケート結果について討論した。技師会に入会させ地区を活性化させるには地区で学術的・技術的にフォローできるネットワークが必要であり、多数の施設協力と多くの技師と親しくなるために自由集会に参加することが重要である。内容は情報交換の場として具体的な話し（試薬問題から経済問題まで）は講演形式でないようにすることが望ましい。ネットの具体案として、学術部の各専門部会に各支部の者一人以上世話人を入れ、その人を經由して疑問点などのネットワークを練るか、各支部生涯教育自由集会に参加し、個々の輪を広げる。

地区連絡網の機能化には E-mail 対応等も考える。各病院の検査室の見学会や地区勉強会の開催場所と時間に関しても討論された。北支部では今回のアンケートには38施設から解答があり、350名中194名しか技師会に入っていないことがわかり、技師会に入っていない技師の介入方法についても討論された。技師会に関しては技師会費が高いという指摘があった。職能と学術が一緒に、100%技師会を利用していないか、100%利用したくなる内容を開催していない可能性もあることが理由。しかし、困った時に役に立つようにする地区ネットワークが完成すれば技師会費が高いと思われなくてもいいかもしれない。

この他、業務独占できるように政治力も発揮し、医学検査雑誌は希望のみ郵送にしてほしいなどの話題もあった。最後に、先月号の医学検査雑誌の読者のページ（臨床検査技師になって思うこと）で北支部生涯教育自由集会に参加し、悩みは自分一人ではないなどの記載内容を紹介し、北支部活動の協力をお願いし、二次会に話しを持ち越した。

施設連絡者会議の報告

— 中 央 支 部 —

支部長 西 時男

支部役員合わせて約40名の参加があり、活発な意見交換が出来たと思う。最初に各地区の区長さんより自己紹介と副区長さんの紹介及び地区活動の報告等の話をして頂き、その後、施設連絡者の方から自施設の現状と地区におけるネットワークについて話をして頂いた。

施設連絡者の方からは、自施設の現状の厳しさを切実に訴えられ、病院の建て替え、または改修工事の時などに検査部門の縮小であるとかランチまたはFMS等の問題が浮上して来ているとの報告が多くなされた。その解決策として、検査部門を守るのではなく、攻めの姿勢を見せることが大事であるとの意見が出され、一例をあげるなら、今まで採血業務を検査部門が行っていないければ、せめて内科外来だけでも現在行われている場所へ検査技師が出向いて行き採血を行う、そのことにより看護婦さんとの信頼関係が生まれ、今まで看護婦さんが中心となっていた行われている色々な委員会に検査部門の参加要請があり、病院内における検査部門の存在価値が高まってきたと思われるとの心強い報告がなされた。

最後に各地区ごとに分かれ、それぞれの地区ネットワーク作りについて区長さんを中心に活発な討論がなされた。

— 南 支 部 —

支部長 中江健市

全体会議に引き続き、南支部施設連絡者の方々に集まって頂き、約1時間ではあったが今後の支部ネットワーク作りや支部開催の自由集会に関して様々な御意見を頂戴した。南支部には112の施設が登録されている。全施設連絡者に技師会を通じ往復ハガキで今回の開催主旨と出欠の有無、技師会への要望などをお聞きしたが、返事が戻ってきたのは54施設（出席25、欠席29）、残り58施設からは少し残念だったが返事がなかった。

25施設35名での会議だったが、会員相互が気軽に疑問や問題点、わからないことを聞きあえる“ネットワーク作り”として自由集会後の懇親会の開催や、こういうことはここに、この人に聞けば良いリストの作成、地区活動の基礎固めがまず重要などを確認した。緊急連絡網には電話よりファックスを活用した方が正確に伝わるし、仕事中でも気を遣わなくてすむ。自由集会の開催日時は過去7回は土曜日15時からであったが、夕方まで勤務の施設もあるので平日19時では、開催場所は比較的集まり易い堺市内や今まで開催していない松原や羽曳野地区では、内容は若い人が興味をもてるもの、トピックス的なもの、でも、結局来る人は来るし来ない人は来ないのではなどの意見が出された。力不足の支部長ですが多くの御意見、御指摘を参考に、自由集会に少しでも多くの新たな参加者を集めネットワークを拡げられればと感じた連絡者会議だった。

署名 10,196人分集まる

府立看護大医療技術短大部臨床検査学科の存続と4年制大学昇格を求める大阪府議会議長あての署名が、皆さんのご協力により、最終的に大臨技5,233人分、同窓会4,963人分、合計10,196人分集まりました。去る3月5日（月）に職能団体の声として、大阪府議会事務局に提出させていただきました。

平成13年度 会費納入のお願い

平成13年度の会費納入がまだの方は、できるだけ早い時期に納入して下さい。

なお、会費が納入されない時（継続の方）は会誌「医学検査」が中断されますので念のためご案内します。

納入金額

① 日本臨床衛生検査技師会	10,000円
② 大阪府臨床衛生検査技師会	4,700円
③ 近畿臨床衛生検査技師会	300円
合 計	15,000円

なお、新入会の方は、入会金6,500円（日臨技2,000円、大臨技4,500円が加算されますので、合計21,500円となります。

事務局よりのお願い

会員の「継続」・「入会」・「退会」などの事務取扱いについて、下記の届出にご協力下さいようお願いいたします。

◎「日本臨床衛生検査技師会 入会申込書・退会など」の届出

◎「会員施設の新規登録・変更・削除など」の届出

これらの届出は**必ず所定の用紙**をお願いいたします。

届出用紙は大臨技事務所に用意してありますのでご利用下さい。

「免許申請中」で技師会入会手続きをされた方は、免許取得後、速やかに「免許番号・取得年月日」を大臨技事務所まで連絡して下さい。
